



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月7日

上場会社名 リリカラ株式会社

上場取引所 東

コード番号 9827 URL <https://www.lilycolor.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 岡田 卓哉

問合せ先責任者（役職名） 取締役専務執行役員（氏名） 平山 雅也 TEL 03-3366-7845
コーポレート本部長

半期報告書提出予定日 2026年8月7日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年12月期中間期	16,378	6.6	△49	—	△125	—	△91	—
2025年12月期中間期	15,364	△8.1	△177	—	△220	—	△146	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	△7.39	—
2025年12月期中間期	△11.88	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年12月期中間期	19,750	7,578	38.4
2025年12月期	20,315	8,122	40.0

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 7,578百万円 2025年12月期 8,122百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	36.00	36.00
2026年12月期	—	0.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	—	—	36.00	36.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	36,000	8.4	1,000	24.9	850	16.8	670	28.1	54.39

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年12月期中間期	12,662,100株	2025年12月期	12,662,100株
--------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年12月期中間期	345,154株	2025年12月期	345,154株
--------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数（中間期）

2026年12月期中間期	12,316,946株	2025年12月期中間期	12,317,786株
--------------	-------------	--------------	-------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件等については、P. 2「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間貸借対照表	3
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間(2026年1月1日～2026年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進むなか景気は緩やかに回復しているものの、物価上昇や米国の対外政策動向、地政学リスクの高まりなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

インテリア業界におきましては、重要な指標である新設住宅着工戸数が建築基準法改正による駆け込み需要の反動で、昨年4月より大きく減少しておりましたが、当年4月以降はやや持ち直しに転じております。

このような事業環境のなか、当社は、2026年2月に見直した中期経営計画「Beyond-120」に基づき、事業ポートフォリオの再構築、資本コストを意識した経営、人財への積極的な投資を推進いたしました。

その結果、当社の売上高は前年同期比6.6%増の16,378百万円、営業損失は49百万円(前年同期は営業損失177百万円)、経常損失は125百万円(前年同期は経常損失220百万円)、中間純損失は91百万円(前年同期は中間純損失146百万円)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

① インテリア事業

2月にカーテン見本帳“ファブリックデコ”、5月に壁装材見本帳“ウィル”、6月に壁装材見本帳“ベース”を発行した他、壁装材見本帳“ライト”、“V-ウォール”、“らくらくリフォーム”、“XR”、カーテン見本帳“リエッタ”、床材見本帳“クッションフロア”等を増冊発行し拡販に努めました結果、売上高は前年同期比3.2%増の12,754百万円となり、セグメント損失は73百万円(前年同期はセグメント損失96百万円)となりました。

② スペースソリューション事業

新しい働き方に対応したオフィス空間構築や、施設のバリューアップを検討する顧客企業に対し、顧客ニーズに寄り添った提案活動に注力いたしましたが、イラン情勢を受けて工事計画を見直す動きも一部に見られたこと等により、売上高は前年同期比0.4%減の2,979百万円となり、セグメント損失は32百万円(前年同期はセグメント損失63百万円)となりました。

③ 不動産投資開発事業

バリューアップ物件の販売等により、売上高は644百万円(前年同期は売上高13百万円)、セグメント利益は56百万円(前年同期はセグメント損失17百万円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当中間会計期間末の総資産は前事業年度末比565百万円減の19,750百万円となりました。

流動資産は前事業年度末比614百万円減の16,341百万円となりました。これは仕掛販売用不動産の増加(1,037百万円)等の増加要因はありましたが、主に現金及び預金の減少(779百万円)、受取手形、売掛金及び契約資産の減少(721万円)、販売用不動産の減少(541万円)等によるものであります。固定資産は前事業年度末比48百万円増の3,408百万円となりました。

負債総額は前事業年度末比20百万円減の12,172百万円となりました。

流動負債は前事業年度末比229百万円増の10,718百万円となりました。固定負債は前事業年度末比250百万円減の1,453百万円となりました。これは主に長期借入金の減少(226百万円)によるものであります。

純資産は前事業年度末比544百万円減の7,578百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少(534百万円)によるものであります。なお、自己資本比率は38.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、2026年2月13日に開示しました「2025年12月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」からの変更は行っておりません。

7月28日に熊本県熊本地方で発生した地震による業績への影響については、当社従業員、事業所の建物・設備に大きな損害はありませんでしたが、現時点では市場動向に与える影響を合理的に見積ることが困難であるため、今回の業績予想には反映しておりません。今後、業績に重大な影響が見込まれる場合は速やかに情報開示いたします。

なお、実際の業績は、原材料価格や物流コスト等の高騰等、様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要性が生じた場合には、適切に開示してまいります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当中間会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,976,298	3,196,308
受取手形、売掛金及び契約資産	5,204,959	4,483,440
電子記録債権	2,237,192	2,496,017
商品	2,976,847	3,118,777
販売用不動産	541,797	—
仕掛販売用不動産	505,813	1,543,364
未成工事支出金	158,809	110,310
その他	1,355,939	1,395,300
貸倒引当金	△2,245	△2,183
流動資産合計	16,955,414	16,341,336
固定資産		
有形固定資産	1,395,819	1,428,802
無形固定資産	205,317	174,333
投資その他の資産		
差入保証金	1,399,941	1,398,810
その他	409,835	460,309
貸倒引当金	△50,824	△53,287
投資その他の資産合計	1,758,951	1,805,832
固定資産合計	3,360,088	3,408,968
資産合計	20,315,503	19,750,304
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,865,810	4,059,474
電子記録債務	2,663,478	2,218,242
短期借入金	774,703	2,616,901
1年内返済予定の長期借入金	504,933	474,933
未払法人税等	272,999	63,771
賞与引当金	331,842	337,654
その他	1,075,389	947,779
流動負債合計	10,489,156	10,718,757
固定負債		
長期借入金	1,380,865	1,154,165
退職給付引当金	137,956	102,888
資産除去債務	92,678	96,842
その他	92,427	99,506
固定負債合計	1,703,927	1,453,403
負債合計	12,193,084	12,172,160

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当中間会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,335,500	3,335,500
資本剰余金	2,375,902	2,375,902
利益剰余金	2,410,214	1,875,787
自己株式	△56,791	△56,791
株主資本合計	8,064,826	7,530,399
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	57,592	47,744
評価・換算差額等合計	57,592	47,744
純資産合計	8,122,418	7,578,144
負債純資産合計	20,315,503	19,750,304

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	15,364,870	16,378,712
売上原価	10,115,504	10,975,892
売上総利益	5,249,365	5,402,819
販売費及び一般管理費	5,427,001	5,452,583
営業損失(△)	△177,635	△49,764
営業外収益		
受取利息	1,591	3,554
受取配当金	2,617	2,069
不動産賃貸料	12,564	7,351
その他	4,831	3,340
営業外収益合計	21,604	16,316
営業外費用		
支払利息	15,777	25,753
手形売却損	5,387	2,081
電子記録債権売却損	26,118	34,295
不動産賃貸費用	15,287	6,691
支払手数料	1,379	21,512
その他	116	1,702
営業外費用合計	64,067	92,035
経常損失(△)	△220,098	△125,483
特別利益		
投資有価証券売却益	52,590	—
特別利益合計	52,590	—
税引前中間純損失(△)	△167,508	△125,483
法人税、住民税及び事業税	23,388	20,996
法人税等調整額	△44,545	△55,463
法人税等合計	△21,156	△34,466
中間純損失(△)	△146,351	△91,016

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純損失(△)	△167,508	△125,483
減価償却費	43,076	37,174
ソフトウェア償却費	47,706	46,037
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△420	2,400
賞与引当金の増減額(△は減少)	211,658	5,811
退職給付引当金の増減額(△は減少)	27,896	△35,067
受取利息及び受取配当金	△4,208	△5,624
支払利息	15,777	25,753
投資有価証券売却損益(△は益)	△52,590	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	1,096,443	462,694
棚卸資産の増減額(△は増加)	△647,469	△659,360
前渡金の増減額(△は増加)	15,187	△12,856
未収入金の増減額(△は増加)	74,029	△54,338
見本帳製作仮勘定の増減額(△は増加)	△93,526	145,198
破産更生債権等の増減額(△は増加)	—	△2,462
差入保証金の増減額(△は増加)	△1,229	△1,281
仕入債務の増減額(△は減少)	△165,098	△1,251,571
未払金の増減額(△は減少)	27,040	110,857
未払消費税等の増減額(△は減少)	△201,615	△147,891
契約負債の増減額(△は減少)	102,801	1,801
見本帳購入等電子記録債務の増減額(△は減少)	365,378	△139,113
その他	△16,116	△29,019
小計	677,212	△1,626,341
利息及び配当金の受取額	3,713	5,128
利息の支払額	△16,404	△26,238
法人税等の支払額	△84,422	△224,637
営業活動によるキャッシュ・フロー	580,098	△1,872,088
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,549	△15,901
無形固定資産の取得による支出	△26,903	△15,709
投資有価証券の取得による支出	△2,274	△2,397
投資有価証券の売却による収入	69,166	—
差入保証金の差入による支出	△1,392	△2,474
差入保証金の回収による収入	4,086	4,876
その他	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	32,134	△31,604

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,820,000	8,620,000
短期借入金の返済による支出	△5,775,799	△6,777,802
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△299,936	△256,699
リース債務の返済による支出	△21,701	△21,160
配当金の支払額	△439,541	△440,634
財務活動によるキャッシュ・フロー	△416,979	1,123,702
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	195,254	△779,990
現金及び現金同等物の期首残高	3,286,264	3,976,298
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,481,518	3,196,308

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	中間 損益計算書 計上額(注)
	インテリア 事業	スペース ソリューション 事業	不動産投資 開発事業	計		
売上高						
一時点で移転される財	12,360,534	2,917,526	—	15,278,061	—	15,278,061
一定の期間にわたり 移転される財	—	73,753	—	73,753	—	73,753
顧客との契約から 生じる収益	12,360,534	2,991,280	—	15,351,814	—	15,351,814
その他の収益	—	—	13,055	13,055	—	13,055
外部顧客への売上高	12,360,534	2,991,280	13,055	15,364,870	—	15,364,870
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,360,534	2,991,280	13,055	15,364,870	—	15,364,870
セグメント損失(△)	△96,616	△63,131	△17,887	△177,635	—	△177,635

(注) セグメント損失(△)は、中間損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	中間 損益計算書 計上額(注)
	インテリア 事業	スペース ソリューション 事業	不動産投資 開発事業	計		
売上高						
一時点で移転される財	12,754,790	2,774,165	626,289	16,155,245	—	16,155,245
一定の期間にわたり 移転される財	—	205,396	—	205,396	—	205,396
顧客との契約から 生じる収益	12,754,790	2,979,561	626,289	16,360,641	—	16,360,641
その他の収益	—	—	18,070	18,070	—	18,070
外部顧客への売上高	12,754,790	2,979,561	644,360	16,378,712	—	16,378,712
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,754,790	2,979,561	644,360	16,378,712	—	16,378,712
セグメント利益又は損失 (△)	△73,899	△32,246	56,381	△49,764	—	△49,764

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。